

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 天籟寺 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体に全国平均を下回っている。特に「書くこと」については、課題となっている。漢字の獲得はできているという結果になっており、「読むこと」の問題については、書かれている内容を読み取る問題の正答率が高めであった。内容が読み取れたとしても、それを「与えられた条件を満たすように記述する」ことが難しくなっている。
	よくできた問題	パンフレットに書かれていることの大切な内容を読み取り、それを整理したものを選択する問題。
	努力が必要な問題	読み取ったことを求められる字数内に必ず使う言葉やその範囲を守って書き表す問題。敬語の問題。
算数	全体的な傾向や特徴など	全体に全国平均より下回っている。特に「数と計算」や「変化と関係」が課題となっている。四則計算の問題では、平均を上回っていた。また、図形の問題では、平均と同様の正答率であるものもあった。四則計算などの計算は得意であるが、計算のきまりを応用したり、数量関係を捉えたりすることが課題であるといえる。
	よくできた問題	四則計算問題。正方形や正三角形の性質について問う問題。
	努力が必要な問題	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選択する問題。文章問題の意味を捉えて、立てられた式が表しているものが何であるかを選択する問題。

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○「将来の夢や目標をもっていますか」では、約93%の児童が肯定的回答をしている。将来の仕事の選択肢を広げ、将来の仕事や未来の自分を考える機会を多くもち、話し合ったり、作文に書いてみたりする機会を今後ももつ必要がある。</p> <p>○「自分にはよいところがあると思いますか」では、約53%の肯定的回答となり、全国平均に比べて低かった。学習活動の中に発表する場や身体表現などの自己表現の機会をたくさん設け、考えたことや感じたことを表現する楽しさとそれを認め合える喜びを感じる体験を増やしていく。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語科では、①漢字練習を漢字練習帳などで積み重ねることや敬語の使い方を普段から練習し、使うこと。②ノートや作文を書くときに、字数の目安をもたせて書くようにするなど、何らかの条件を提示して書く習慣を身に付けることができるようにする。算数科では、①これまでのように「もく算タイム」を週2回継続する。②文章問題には、画像を含めた具体物を用いたり、問題文のキーワードや助詞に下線や囲みを入れたりして、数量関係を捉えることができるようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

特に家庭学習について積極的に取り組む。①保護者啓発のための学校だよりを発信する。②「お家勉強チャレンジシート」を全校児童に配布し、月曜日から金曜日まで1日の目標時間を設定し、家庭で学習することができるように励ましていく。